

# AWS アカウントの作成

以下の URL より AWS アカウントを作成してください。

<https://aws.amazon.com/jp/>



ページ右上の「今すぐ無料サインアップ」ボタンよりサインアップ画面へ移動します。

## ステップ 1: ログイン情報の登録

A screenshot of the AWS account creation registration page. The page title is 'AWS アカウントの作成'. It contains four numbered input fields: 1. E メールアドレス (Email address) with 'hanayama@gmail.com' entered. 2. パスワード (Password) with '.....' entered. 3. パスワードの確認 (Confirm password) with '.....' entered. 4. AWS アカウント名 (AWS account name) with 'TARO HANAYAMA' entered. Below the fields is a yellow '続行' (Next) button. At the bottom, there is a link for '既存の AWS アカウントでログイン' (Log in with existing AWS account). A red arrow points to the '日本語' language selection dropdown in the top right corner of the page.

最初に AWS アカウントのログイン ID となるメールアドレスとログインパスワードを登録します。表示されたページが「日本語」でない場合、ページ右上の言語選択ボックスより「日本語」を選択後、サインアップを行ってください。

① E メールアドレス

AWS へのログイン ID に利用したいメールアドレスを設定します。

② パスワード

AWS へのログイン時に使用するパスワードを設定します。

③ パスワードの確認

もう一度同じパスワードを入力します。

※パスワードは 8 文字以上で大文字、小文字、数字、記号のうち 3 種類以上を使用して、AWS アカウント名やメールアドレスと同じにならないようにしてください。

④ AWS アカウント名

テキストボックスに、お客様のお名前を半角アルファベットで入力します。

※アカウント名はログイン後、アカウント設定にて変更することが可能です。

入力後、「続行」ボタンをクリックします。

## ステップ 2: 連絡先情報を入力

すべてのフィールドは必須です。

アカウントの種類を選択し、次のフィールドに連絡先の詳細を入力してください。

アカウントの種類 ⓘ

①  プロフェッショナル  パーソナル

フルネーム

②

電話番号

③

国/地域

④

アドレス

⑤

⑥

市区町村

⑦

都道府県または地域

⑧

郵便番号

⑨

⑩  AWS カスタマーアグリーメントの諸条件を確認済みで、同意する場合はここをチェックしてください

次にお客様情報を登録します。入力欄には、すべて「半角アルファベットおよび半角数字」で正しい情報を入力してください。

① アカウントの種類 (必須)

法人利用であれば、「プロフェッショナル」、個人利用であれば「パーソナル」を選択します。

② フルネーム (必須)

お客様のフルネームを入力します。

※アカウントの種類で「プロフェッショナル」を選択した場合はフルネームの下に会社名入力欄が表示されますので会社名を入力します。

③ 電話番号 (必須)

お客様のお電話番号をハイフン・記号なしで入力します。(必須)

(例:0312345678)

※この後 SMS 認証による本人確認が行われますので、必ず SMS または音声通話が受信可能な電話番号を入力してください。

④ 国 (必須)

「日本」を選択します。

⑤ アドレス (必須)

お客様のご住所の番地を入力します。

(例 : 55-5 Yotsuya)

⑥ マンション名、部屋暗号 (必須)

お客様のお住まいのマンション名、部屋番号を入力します。

(例 : #A1005)

⑦ 市区町村 (必須)

お客様のご住所の市区町村名を入力します。

(例 : Shinjuku-ku)

⑧ 都道府県または地域 (必須)

お客様のご住所の都道府県名を入力します。

(例 : Tokyo-to / Tokyo )

⑨ 郵便番号: お客様のご住所の郵便番号をハイフン付きで入力します。(必須)

(例:153-0064)

⑩ 利用規約の同意(必須)

「AWS カスタマーアグリーメント」(利用規約)にチェックを入れます。

「[アカウントを作成して続行](#)」ボタンをクリックします。

## ステップ 3: お支払い情報を入力

次にお支払い情報の登録を行います。お支払い情報には、お客様の有効なクレジットカードまたはデビットカードが必要です。クレジットカード、デビットカード共に Visa、MasterCard、American Express、Discover、JCB、などほぼすべてのカードが利用可能です。

すべてのフィールドは必須です。

お客様の支払い情報は、お客様の本人確認のために使用し、[AWS 無料利用枠](#)の制限を超えた使用に対してのみ使用いたします。AWS 無料利用枠の制限以下の使用に対しては課金いたしません。支払いオプションの詳細については、[よくある質問](#)をご確認ください。



支払い情報を送信されると、カードが有効であることを保証する確認料金としてお客様のクレジットカードに 1 USD/EUR を請求いたします。確認が完了するまで 3~5 日間クレジットカードの明細書に金額が未払いとして表示される場合がありますが、完了した時点で請求は削除されます。確認料金を承認するために、銀行のウェブサイトにリダイレクトされる場合があります。

クレジットカード/デビットカード番号

① 1234 0000 5678 0000



AWS では、ほとんどの主要なクレジットカードとデビットカードをご利用いただけます。

有効期限日

② 08 2020

カード所有者の氏名

③ TARO HANAYAMA

請求先住所

④  連絡先住所を使用する

55-5 Yotsuya #A1005  
Shinjuku-ku Tokyo-to 160-0004  
JP

新しい住所を使用する

検証して追加する

画像赤枠：カードの有効性確認に関するお知らせ

登録するクレジットカード、デビットカードの有効性確認のため、カードに 1 USD/EUR の請求が行われます。カードの有効性確認が完了すると 1 USD/EUR の請求は削除されます。デビットカードの場合、このプロセスを進める際に銀行のウェブサイトへリダイレクトされる場合がありますが、表示に従って処理を進めてください。デビットカードについても、カード有効性確認が完了すると請求は削除されます。

※12ヶ月の無料期間が過ぎると、登録したカードから月額使用料を支払うこととなります。

① クレジットカード/デビットカード番号

有効なクレジットカードまたはデビットカードの16桁カード番号を入力します。

② 有効期限日

カードの有効期限を月、年の順で選択します。

③ カード所有者の氏名

カードに印字されている氏名を正確に入力します。

④ 請求先住所

請求先住所を選択します。請求先住所がステップ 2 で入力した住所と同様の場合は、「連絡先住所を使用する」を選択します。ステップ 2 で入力した住所と異なる住所を請求先にする場合は、「新しい住所を使用する」を選択して、請求先住所を入力してください。

すべて入力が終わりましたら、「次へ」ボタンをクリックします。

※登録するカードはクレジットカード、デビットカード、プリペイド式カードが可能です。

一部ご利用頂けないカードがございます。

## ステップ 4 SMS または日本語自動音声電話によるアカウント認証

アカウントの本人確認を行います。音声通話、または、テキストメッセージ（SMS）による認証からお好きな受け取り方法お選びいただけます。

※入力した電話番号に、日本語の自動音声による認証コードの入力を求める確認電話または SMS が届きますので、すぐに受信できる電話番号を入力してください。※SMS は固定電話番号には非対応です。

AWS アカウントを使用する前に、電話番号を検証する必要があります。続行すると、AWS の自動化されたシステムから、お客様に検証コードをご連絡します。

検証コードをどのように受け取りますか？

①  テキストメッセージ (SMS)  
 音声通話

国またはリージョンコード

② 日本 (+81)

電話番号

③ 09012345678

セキュリティチェック

④ 47dyc5

お問い合わせください

### ① 認証コードの受け取り方法選択

希望の認証コードの受け取り方法を選択します。

### ② 国またはリージョンコード

日本 (+81) を選択します。

### ③ 電話番号（携帯電話番号）

電話番号をハイフン・記号なしで入力します。

(例:09012345678)

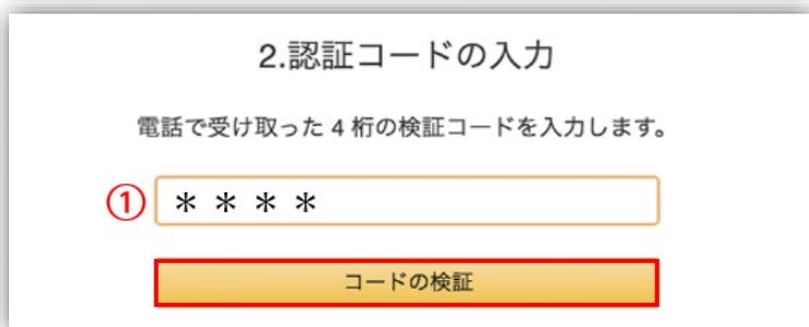
※必ず連絡先情報に入力した電話番号と同じ番号を入力して下さい。

#### ④ セキュリティチェック

上部に表示されている文字列を英数字で入力します。

(例：47dyc5)

「お問い合わせください」ボタンをクリックすると以下の画面が表示され、SMS または音声通話で 4 桁の 認証コードが届きます。



認証コードが届いたら、① の入力欄に 4 桁の認証コードを入力し、「コードの検証」ボタンをクリックします。



画面が自動的に切り替わったら本人確認は完了となりますので、「[続行](#)」ボタンをクリックします。

※電話認証を受電する電話が受電できる状況でない場合や電話回線の混雑などで、自動認証による身元確認作業に失敗する場合があります。失敗した場合は、12 時間以上間をおいて再度電話認証をお試しいただくか、AWS カスタマーサービス(日本語サポート:平日 9:00~18:00)にお問い合わせください。

## ステップ 5: AWS サポートプランの選択

最後に AWS のサポートプランの選択を行います。

AWS では、お客様のニーズに合ったさまざまなサポートプランをご用意しています。お客様の AWS の使用に最も合ったサポートプランを選択してください。 [詳細はこちら](#)

 ベーシックプラン	 開発者プラン	 ビジネスプラン
 <b>無料</b>	29 USD/月~	100 USD/月~
<ul style="list-style-type: none"><li>すべてのアカウントに含まれています</li><li>フォーラムとリソースへの 24 時間 365 日対応のセルフサービスアクセス</li><li>セキュリティとパフォーマンスを向上させるためのベストプラクティスのチェック</li><li>ヘルスステータスと通知へのアクセス</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>早期の採用、テスト、開発用</li><li>AWS サポートへの営業時間中の E メールでのアクセス</li><li>1 人の主な担当者による無制限のサポートケースのオープンが可能</li><li>非実稼働システムに対する 12 時間の応答時間</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>実稼働のワークロードおよびビジネスクリティカルな依存関係用</li><li>AWS サポートへの 24 時間 365 日のチャット、電話、E メールでのアクセス</li><li>無制限の担当者による無制限のサポートケースのオープンが可能</li><li>実稼働システムに対する 1 時間の応答時間</li></ul>

「無料」ボタンをクリックすると AWS アカウントの作成は完了です。数分でアカウントは有効となり、次のステップに進むことができます。

※必ず「無料」ボタンをクリックしてください。他のプランを選択した場合は初月から支払いが発生しますのでご注意ください。

# AWS インスタンスの作成

日本担当チームへ問い合わせる > サポート ▾ 日本語 ▾ アカウント ▾

コンソールにサインイン



AWS のトップページ右上の「コンソールにサインインする」ボタンをクリックして AWS アカウントにログインします。

## リージョンの確認/変更

アカウント登録した直後、ほとんどの場合リージョンが東京以外の地域になっています。



サイト右上に「オハイオ」や「バージニア」等の地域名が表示されている場合は必ずプルダウンを開いて、一覧から「アジアパシフィック(東京)」をクリックして、リージョンの変更を行ってください。

※リージョンの変更に時間がかかる場合があります。リージョンが東京に変更されていない場合は少し時間を空けてから次のステップへお進みください。

## インスタンスの起動



「すべてのサービス>コンピューティング」に表示されている「EC2」をクリック、またはサービスを検索するに「EC2」と入力して EC2 コンソールを表示します。



画面中央あたりにあるオレンジのボタン「インスタンスを起動」ボタンをクリックして次へ進みます。※ボタンの下に現在の

リージョンが表示されています。必ずアジアパシフィック(東京)リージョンと表示されているが確認してください。リージョンが東京以外の場合はリージョンの変更/確認を行ってください。

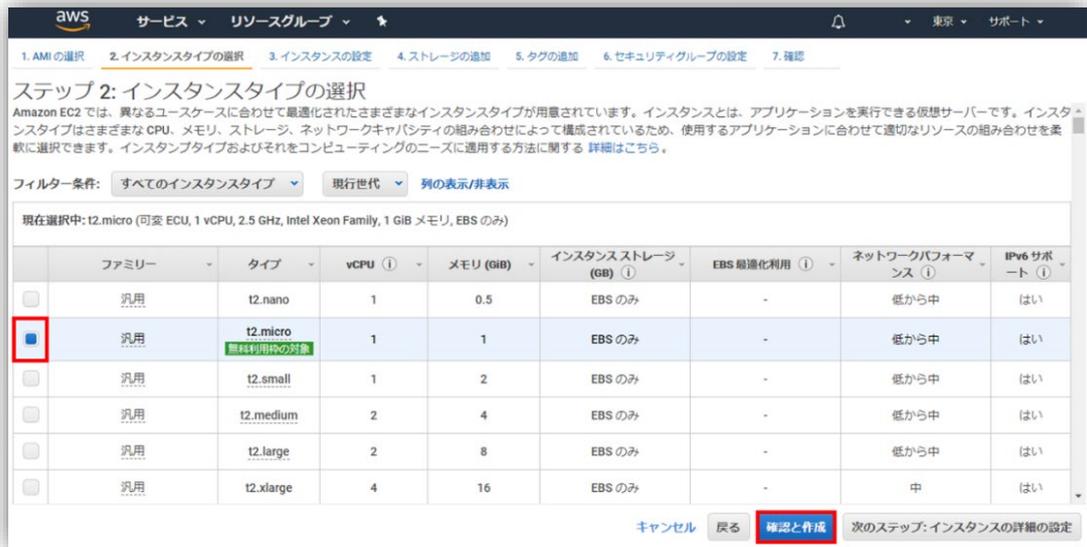
## ステップ 1 AMI の選択

弊社が提供する独自の AMI を検索します。画像赤枠の「コミュニティ AMI」をクリックして、検索欄に「keiba」と入力して検索してください。



「Keiba\_Abilitation\_Rise」名の AMI が表示されます。この AMI は Windows の日本語化と Abilitation Rise インストールがすでに行われている AMI となっておりますので、こちらの「選択」ボタンをクリックします。

## ステップ 2 インスタンスタイプの選択



ステップ 2: インスタンスタイプの選択

Amazon EC2 では、異なるユースケースに合わせて最適化されたさまざまなインスタンスタイプが用意されています。インスタンスとは、アプリケーションを実行できる仮想サーバーです。インスタンスタイプはさまざまな CPU、メモリ、ストレージ、ネットワークキャパシティの組み合わせによって構成されているため、使用するアプリケーションに合わせて適切なリソースの組み合わせを柔軟に選択できます。インスタンスタイプおよびそれをコンピューティングのニーズに適用する方法に関する 詳細はこちら。

フィルター条件: すべてのインスタンスタイプ 現行世代 列の表示/非表示

現在選択中: t2.micro (可変 ECU, 1 vCPU, 2.5 GHz, Intel Xeon Family, 1 GiB メモリ, EBS のみ)

	ファミリー	タイプ	vCPU ①	メモリ (GiB)	インスタンスストレージ (GB) ①	EBS 最適化利用 ①	ネットワークパフォーマンス ①	IPv6 サポート ①
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.nano	1	0.5	EBS のみ	-	低から中	はい
<input checked="" type="checkbox"/>	汎用	t2.micro	1	1	EBS のみ	-	低から中	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.small	1	2	EBS のみ	-	低から中	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.medium	2	4	EBS のみ	-	低から中	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.large	2	8	EBS のみ	-	低から中	はい
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.xlarge	4	16	EBS のみ	-	中	はい

キャンセル 戻る 確認と作成 次のステップ: インスタンスの詳細の設定

表示されたタイプ一覧から「無料利用枠の対象」と表示されている「t2 micro」を選択します。

## ステップ 3～ステップ 6

設定不要ですので「確認と作成」ボタンをクリックします。

## ステップ 7 確認



ステップ 7: インスタンス作成の確認

インスタンスの作成に関する詳細を確認してください。各セクションの変更に戻ることができます。[作成] をクリックして、インスタンスにキーペアを割り当て、作成処理を完了します。

AMI の詳細 AMI の編集

**Keiba Abilition Rise - ami-043a685308a1fe66b**  
Keiba  
ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm

インスタンスタイプ インスタンスタイプの編集

インスタンスタイプ	ECU	vCPU	メモリ (GiB)	インスタンスストレージ (GB)	EBS 最適化利用	ネットワークパフォーマンス
t2.micro	可変	1	1	EBS のみ	-	Low to Moderate

セキュリティグループ セキュリティグループの編集

セキュリティグループ名: launch-wizard-8  
説明: launch-wizard-8 created 2020-08-31T15:48:08.689+09:00

タイプ ①	プロトコル ①	ポート範囲 ①	ソース ①	説明 ①
このセキュリティグループにはルールがありません				

インスタンスの詳細 インスタンスの詳細の編集

ストレージ ストレージの編集

タグ タグの編集

キャンセル 戻る 起動

表示されている AMI とタイプに間違いがないことを確認してから右下の「起動」ボタンをクリックしてください。クリックすると、キーペア作成のポップアップウィンドウが表示されます。



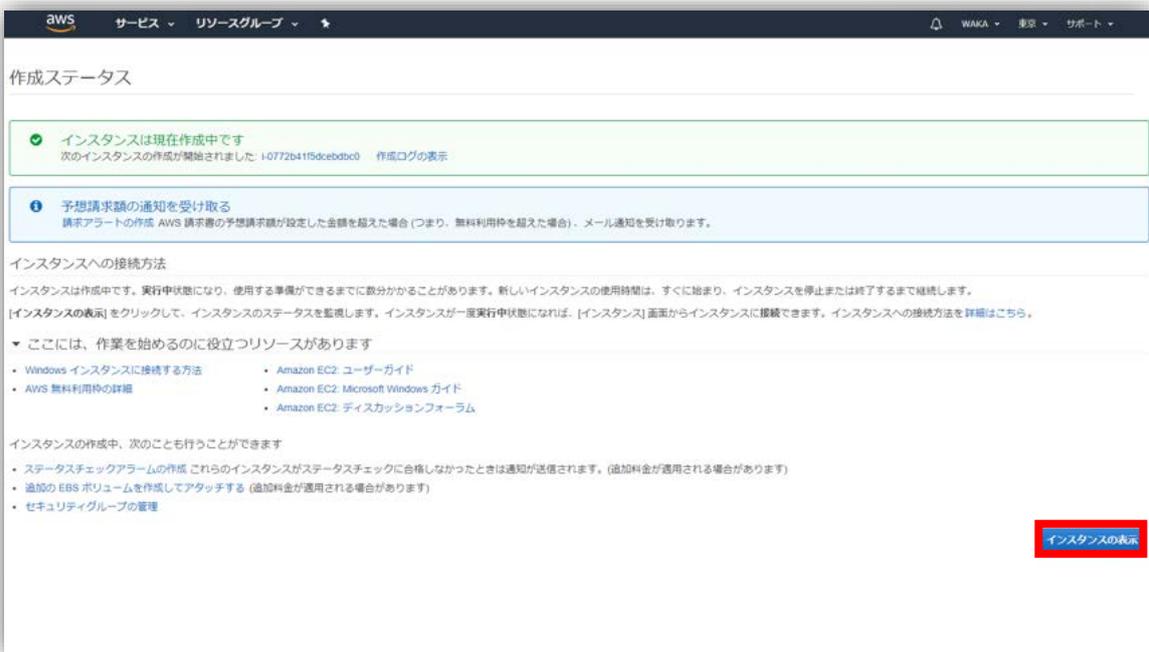
① 「キーペアなしで続行」を選択

② インスタンス接続の注意点説明にチェックを入れます。

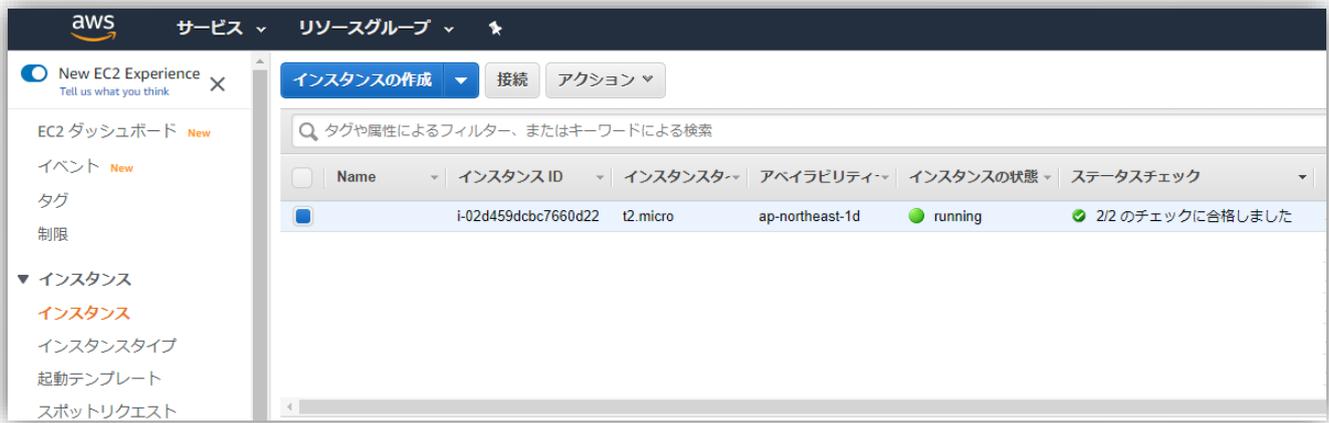
※「Keiba\_Abiliton\_Rise」名のAMIはログインID/PASSが作成済みの為、キーペアファイルの作成/保存は必要ありません。

「インスタンスの作成」ボタンをクリックしてください。

※インスタンス作成には5分から10分程度の時間がかかる場合があります。



画面が切り替わったら画面右下の「インスタンスの表示」ボタンをクリックして状態を確認します。

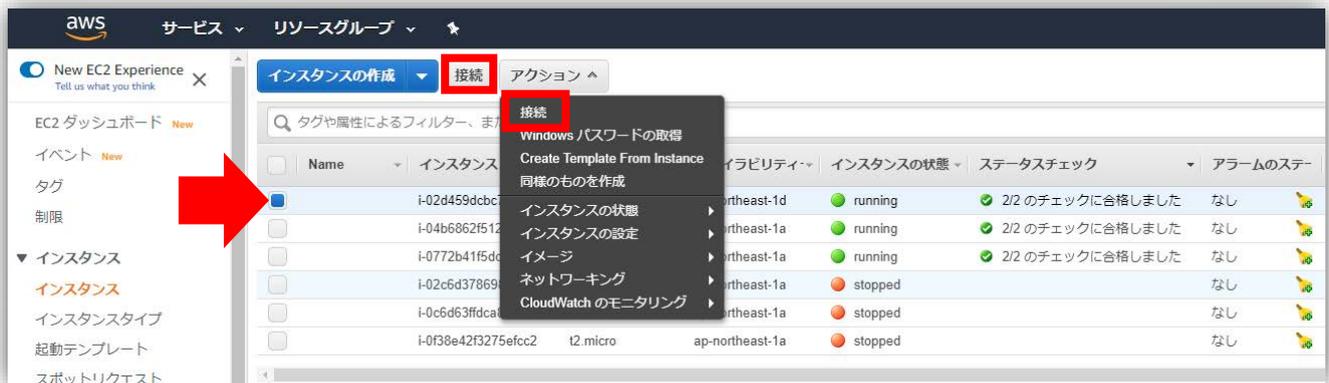
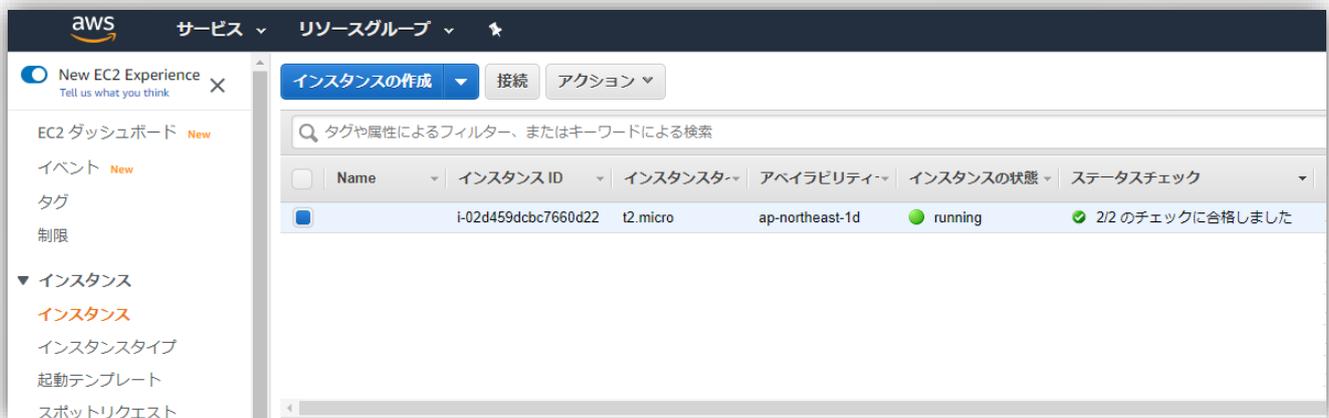


インスタンスの状態が「**running**」、ステータスチェックが「**2/2 のチェックに合格しました**」と表示されていればインスタンスの作成は完了となります。

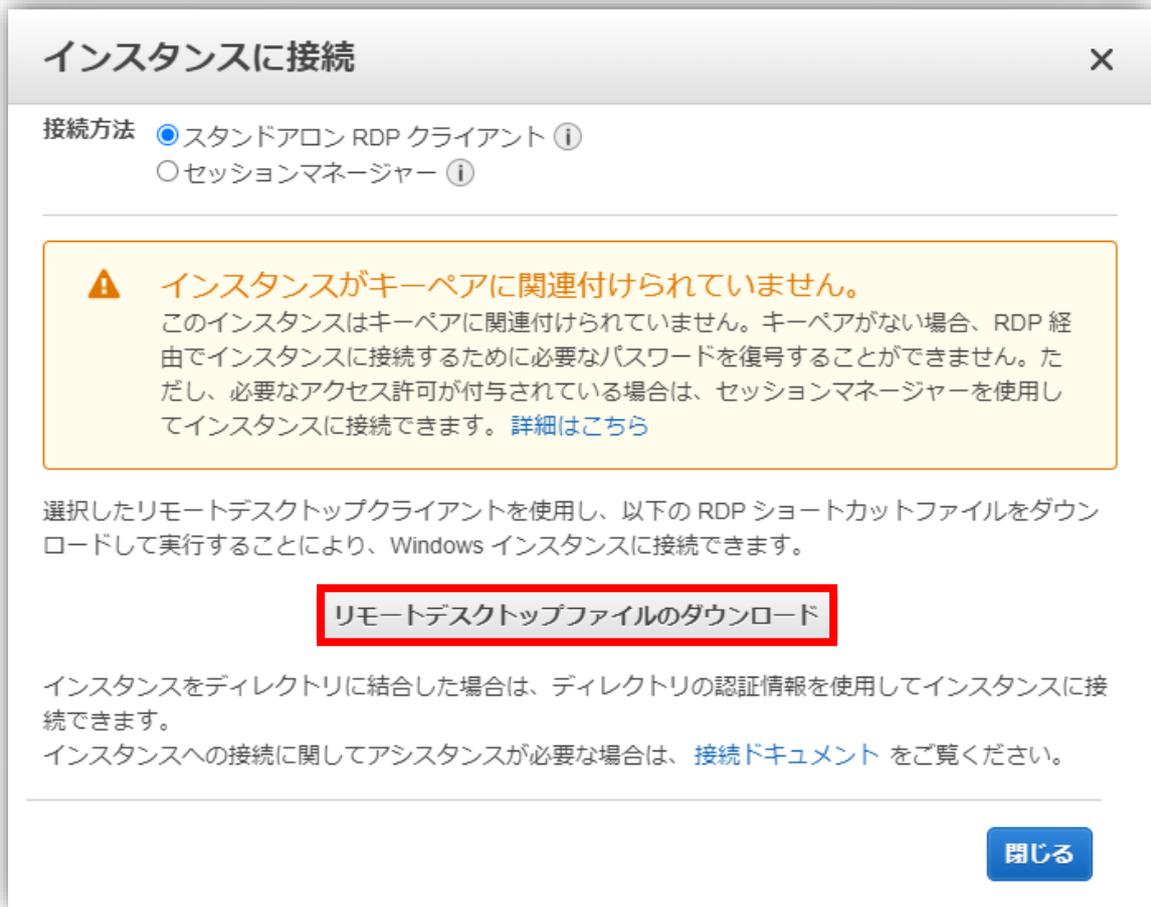
※インスタンスの状態が「**pending**」の場合や、ステータスチェックが「**1/2 のチェック中**」と表示されている場合は、まだインスタンス作成中の状態です。インスタンス作成完了となるまでお待ちください。

## リモートデスクトップの作成

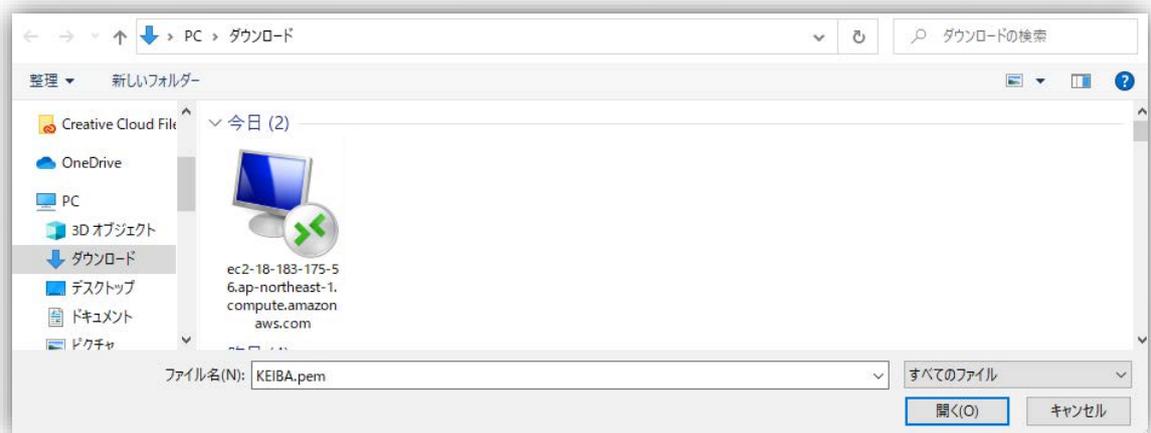
作成したインスタンスに接続するためのリモートデスクトップファイルの作成とログイン ID パスワードの取得を行います。



作成したインスタンスの左端をクリックして、上部の「[接続](#)」または「[アクション](#)>[接続](#)」をクリックします。



リモートデスクトップファイルのダウンロードとパスワードの取得画面が表示されますので「[リモートデスクトップファイルのダウンロード](#)」ボタンをクリックしてファイルをダウンロードします。

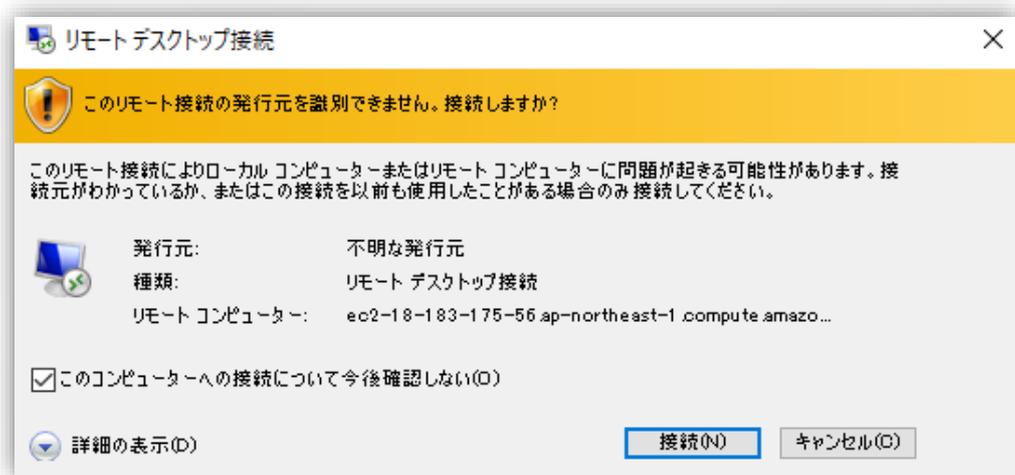


リモートデスクトップファイルのダウンロードを確認してください。

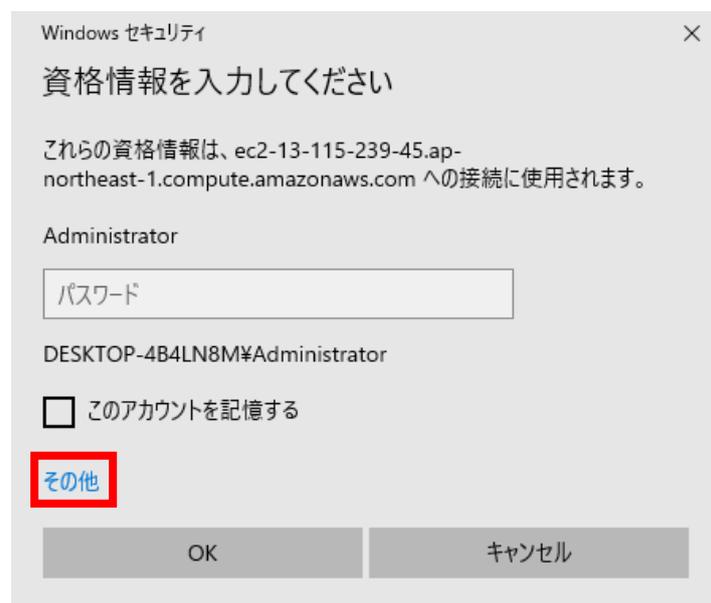
## インスタンスに接続する



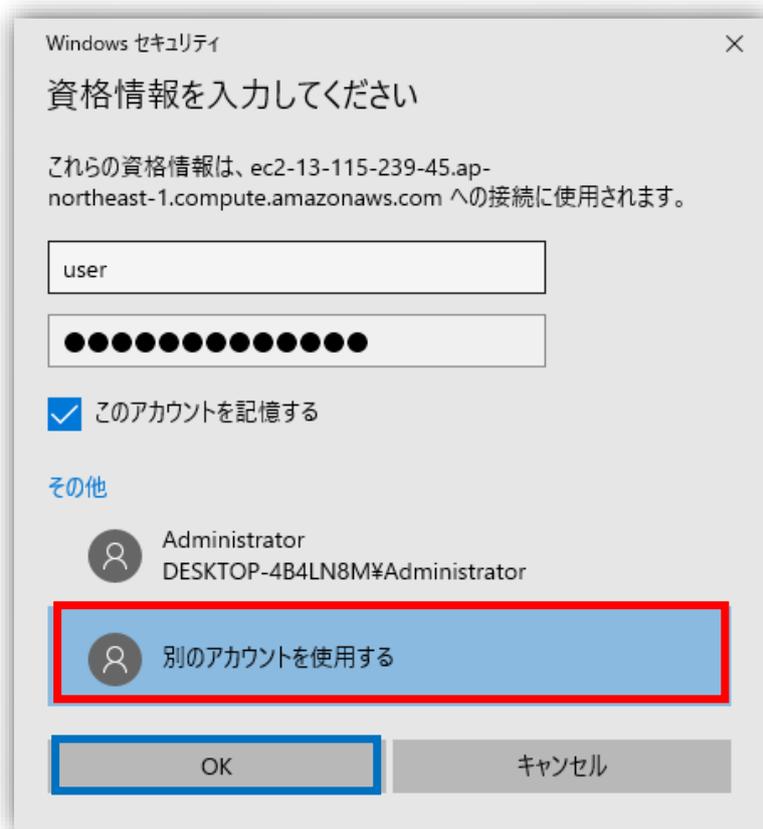
ダウンロードしたリモートデスクトップファイルをダブルクリックしてインスタンスへ接続します。



確認画面が表示されますので「接続」をクリックします。



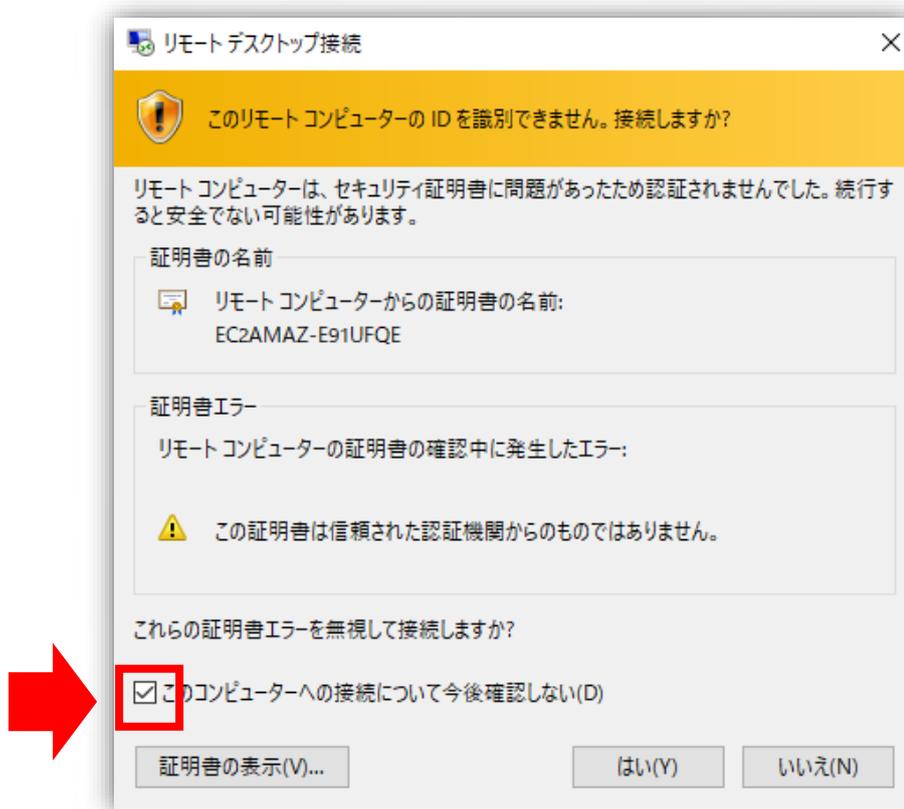
パスワード入力画面が表示されますので「その他」をクリックします。



「別のアカウントを使用する」をクリックして、ユーザー名とパスワードに以下の情報を入力します。

ユーザー名: **user**                      パスワード: **Keiba12345678**

ユーザー名とパスワードを入力したら「OK」をクリックします。



再度確認画面が表示されますので「はい」をクリックします。



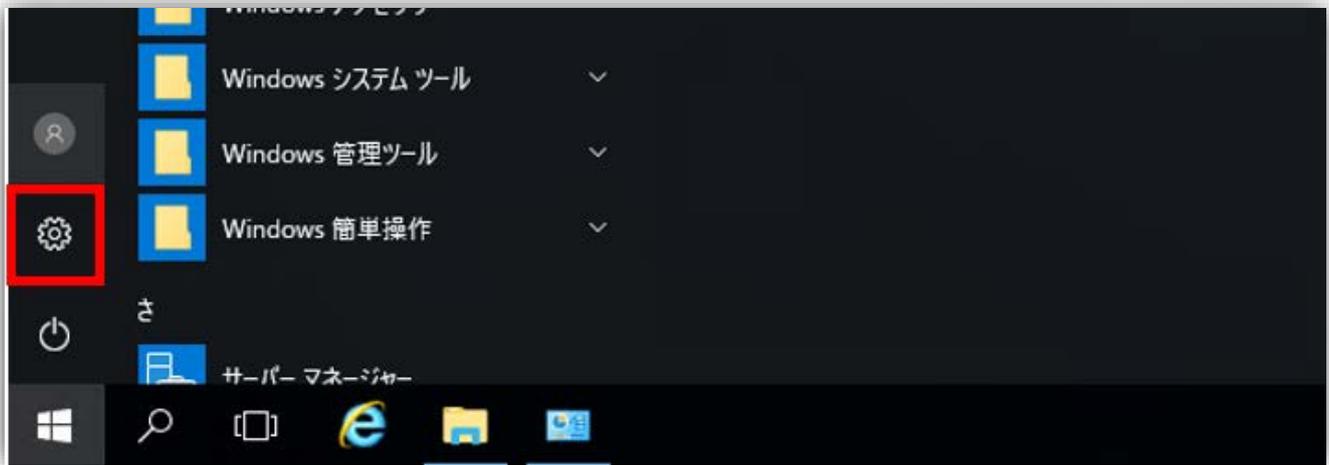
インスタンスの起動が始まります。初回起動時は少し時間がかかる場合がありますのでデスクトップ画面が表示されるまで電源を落とさずにお待ちください。



仮想 PC のデスクトップ画面が表示されたらインスタンスの起動はひとまず完了です。  
次はインスタンスの設定確認を行きましょう。

## 地域、言語、時間の確認

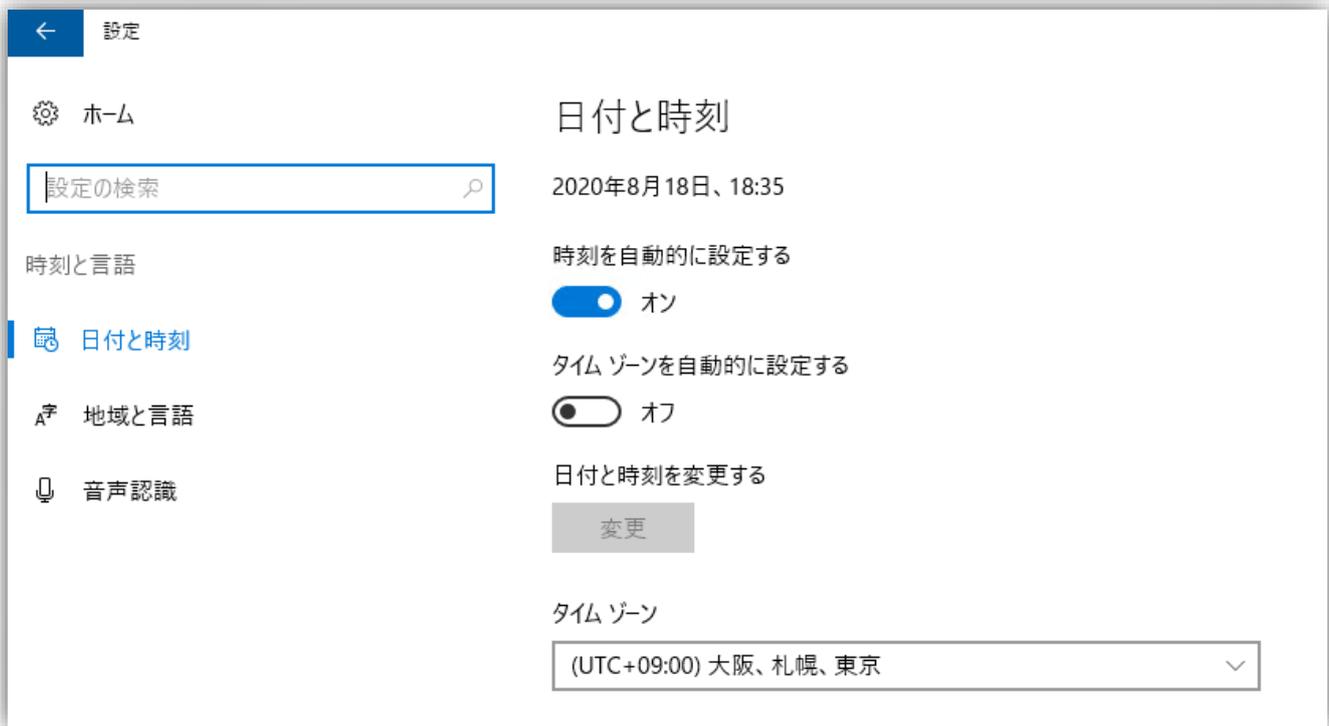
「KeibalsMySoul」名の AMI を選択したにもかかわらず、言語や時間が海外の設定になっている可能性があります。念のために仮想 PC の地域(ローカル)、言語、時間を確認しておきましょう。



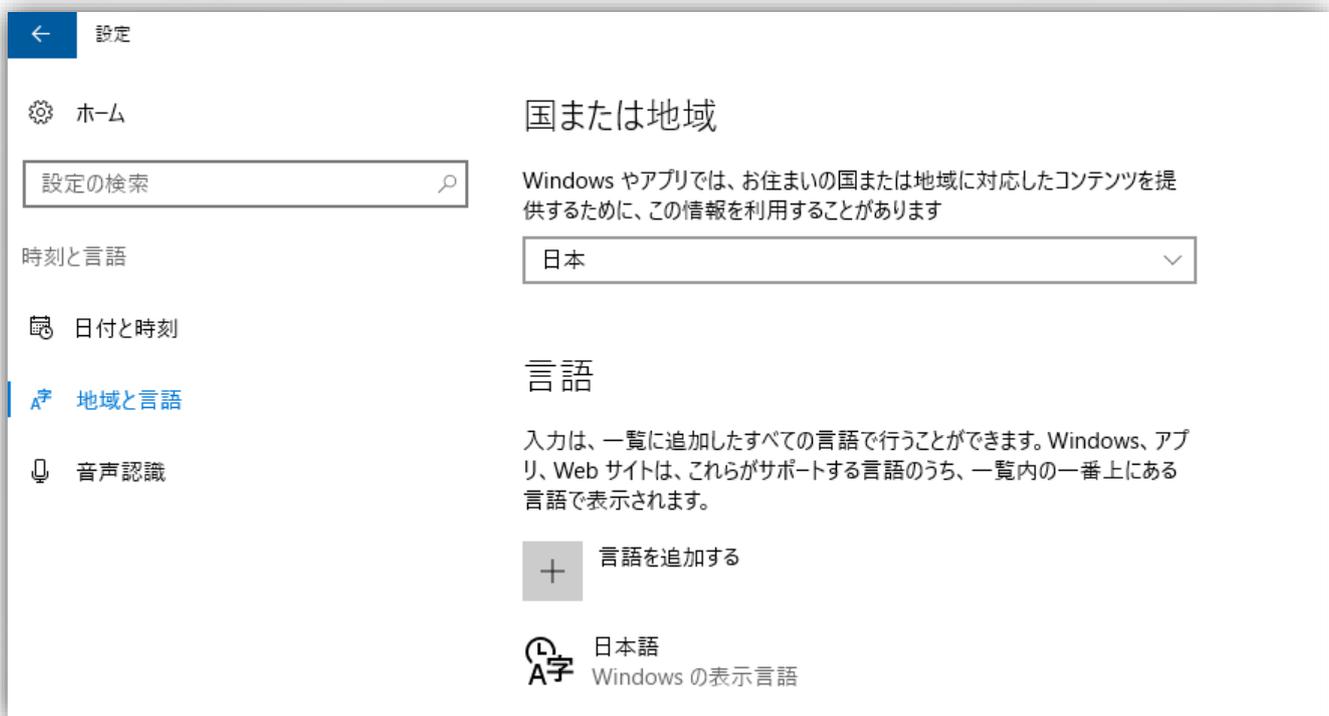
仮想マシンの左下の Windows マークから設定アイコンをクリックしてください。



時刻と言語をクリックしてください。



日付と時刻を選択して、「時刻を自動的に設定する」がオンになっていることを確認して下さい。  
タイムゾーンが(UTC+9:00)大阪、札幌、東京になっていることを確認してください。タイムゾーンが(UTC+9:00)大阪、札幌、東京になっていない場合はプルダウンから(UTC+9:00)大阪、札幌、東京に変更してください。



地域と言語を選択して、国または地域が日本、言語が日本語になっていることを確認してください。

以上で仮想 PC の設定は完了です。

## オートアプリケーションの初期設定



インストールされたオートアプリケーションは 16 桁の認証キー、IPAT 情報、JV-Link キーが未設定の状態です。デスクトップ上の Abilition Rise ショートカットをダブルクリックしてアプリを起動し初期設定を行います。

※アプリを起動したときアプリのアップデート画面が表示されることがあります。以下の画面が表示された場合は「アップデート」ボタンをクリックして最新バージョンへの更新を行ってください。



オートアプリケーション認証キーの入力



初回アプリ起動時に、認証画面が表示されますので、16桁の認証キーを入力して「認証」ボタンをクリックします。  
※まだ認証キーを取得されていない方は本マニュアル「認証キーの取得方法」をご参照の上、キーを取得してください。



オートアプリケーションのトップ画面が表示されますので「自動投票」ボタンをクリックしてアプリを起動させます。

# IPAT 設定



アプリが起動したら画面上部にあるメニューの「IPAT 設定」をクリックします。

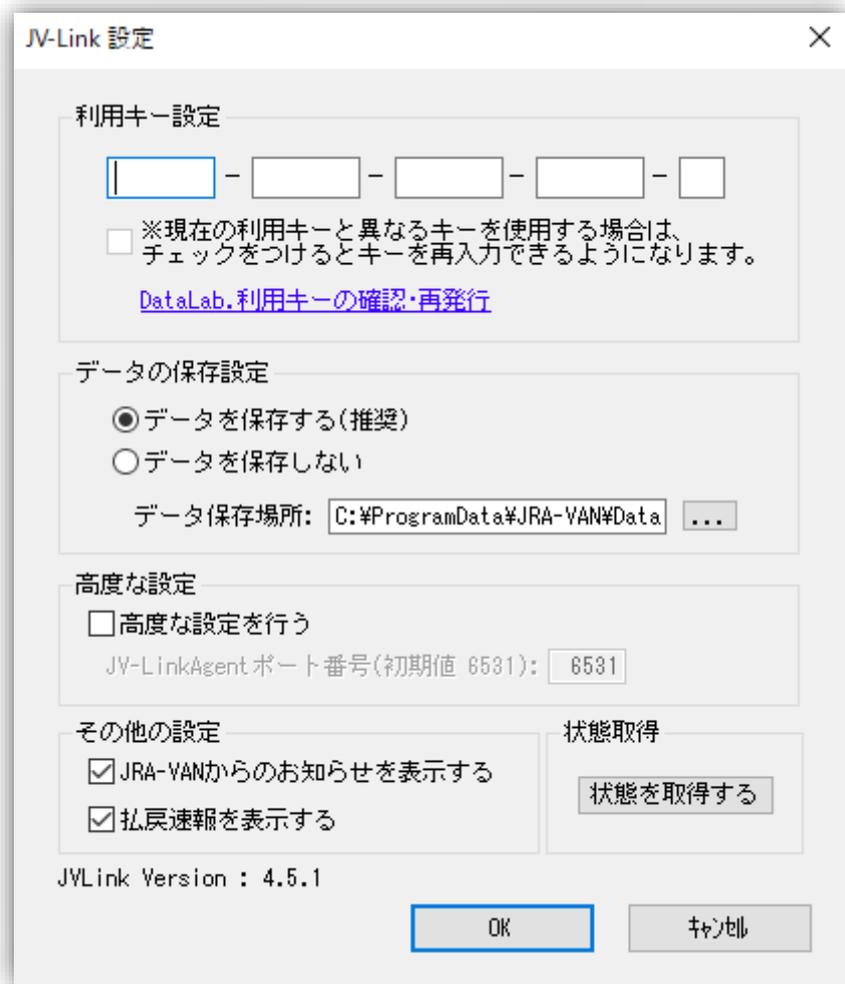
JRAIPAT 情報をこちらに入力します。入力が完了しましたら「保存」ボタンをクリックして画面を閉じます。  
IPAT 口座をまだ開設されていない方は以下のサイト URL をご参照の上、口座を開設してください。

即 PAT 加入手続きガイド [http://jra.jp/dento/welcome/soku/so\\_kanyu.html](http://jra.jp/dento/welcome/soku/so_kanyu.html)

※IPAT 情報は4種類(INET ID, 加入者番号, PARS, 暗証番号)入力間違いがあった場合、自動馬券投票が行われません。入力場所及び内容をお間違えないようご確認ください。

尚、JRAIPT サービスは弊社サービスではございません。IPAT に関するお問い合わせは JRAIPAT サービスへお問い合わせください。

画面上部にあるメニューの「JVLINK」をクリックします。



The image shows a dialog box titled "JV-Link 設定" (JV-Link Settings) with a close button (X) in the top right corner. The dialog is divided into several sections:

- 利用キー設定** (Usage Key Setting): Contains a text input field with a blue border, followed by hyphens and four more input fields. Below it is a checkbox with the text: "※現在の利用キーと異なるキーを使用する場合は、チェックをつけるとキーを再入力できるようになります。" (When using a key different from the current usage key, checking this box allows you to re-enter the key.) A blue link "DataLab.利用キーの確認・再発行" (DataLab. Check/Re-issue Usage Key) is provided.
- データの保存設定** (Data Saving Setting): Contains two radio buttons: "データを保存する(推奨)" (Save data (recommended)) which is selected, and "データを保存しない" (Do not save data). Below is a text field for "データ保存場所:" (Data saving location) with the value "C:\ProgramData\JRA-VAN\Data" and a browse button "...".
- 高度な設定** (Advanced Setting): Contains a checkbox "高度な設定を行う" (Perform advanced settings) which is unchecked. Below is a text field for "JV-LinkAgent ポート番号(初期値 6531):" (JV-LinkAgent port number (initial value 6531)) with the value "6531".
- その他の設定** (Other Settings): Contains two checked checkboxes: "JRA-VANからのお知らせを表示する" (Display notices from JRA-VAN) and "払戻速報を表示する" (Display refund reports).
- 状態取得** (Status Acquisition): Contains a button labeled "状態を取得する" (Acquire status).

At the bottom left, it says "JVLink Version : 4.5.1". At the bottom right, there are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

JRA-VAN Data Lab.で取得したJV-Link キーを入力します。

4文字-4文字-4文字-4文字-1文字、計17文字の入力が完了したら「OK」をクリックします。

## JV-Link の接続確認

JV-Link キーは入力間違いがあった場合の入力チェック/エラー表示が行われないため、接続確認を行う必要があります。もう一度メニューの「JVLINK」をクリックしてください。

表示された設定画面の「状態を取得する」ボタンをクリックして接続確認を行います。



JV-Link キーの入力に間違いがなければ「ご利用の JV-Link は正常です。」とのポップアップ画面が表示されますので「OK」をクリックして JV-Link 設定画面を閉じてください。

※「ご利用の JV-Link は正常です。」以外の表示が出た場合は入力した JV-Link キーは無効な状態です。JRA-VAN Data Lab.にログインしてキーの状況をご確認ください。

JV-Link キーが無効な状態：すでに一度使用されている、毎月の更新料支払いが滞っている等

以上でオートアプリケーションの初期設定は完了です。

動作設定やその他メニューにつきましては「ご利用方法」をご確認ください。